

しかし、家は留守だった。

そのおばさんに、大島が買ったタバコを、「てぶらじゃダメだ」と大島は思った。からだそのタバコを、そのおばさんに大島は渡す。すたこら さっさと、お帰り、残念。 そうだ、

再び 京阪電車で、今度は、三条京阪まで行く。

鴨川沿いを走る電車は、満員、むんむんする。ガヤガヤ、ベチャベチ。

女生徒がうるさい。すまして、沈黙を守る紺の学生服の三人。

窓の鴨川に鳥のたわむれを見る。

新京極のピカデリーで映画を見ることになった。

いろいろ捜した結果、ここが一番安かったからだ。二百四十円で 三本立て であった。

大変、満員で 大変 あつい、おまけに立ち見。

正月に映画とは 毎年やることだが入って 後悔した。 苦しいだけだ。

隣りにいた、かわいい女の子、見えない見えないと背伸びする。肩に肩車してあげた。小学校 二年生くらいの女の子。

こんな妹が いれば いいなあ。

